

工事費等の内訳

○津久見港埋立地への新庁舎建設案

令和6年4月1日

◎金額算出の前提
実施設計まで終了し、算出している額である。

区 分		金 額
変更点等	基本計画、基本設計、実施設計額を比較する上で加算	136,000,000円
	津久見港埋立地の駐車場整備費（街なか観光拠点で整備しない場合） 簡易舗装費用⇒5,874㎡×5,000円＝約30,000,000円	30,000,000円
	緊急防災・減災事業債の物価高への対応 庁舎移転事業における1㎡当りの建築単価の上限を引上げ 42.2万円⇒46.8万円（11%増）	起債借入額が約2.5億円増 （交付税措置額が約1.7億円増）
	現段階の物価高に対応した予算ではない（R5年9月議会提案時の金額）	今後再度計算予定

○第二中学校跡地等を活用した移転案

◎金額算出の前提
第二中学校以外にも既存の建物を活用し、第二中学校旧校舎を本庁舎に改修し、現庁舎新館と市民図書館には市役所機能を残した分庁方式として各改築費用等を概算で算出している額である。

区 分		金 額	備 考
委託料	設計等業務委託料		
	基本計画策定委託料	5,000,000円	
	設計費委託料	40,000,000円	
	耐力度調査委託料	5,000,000円	
	開発行為の測量設計委託料	10,000,000円	
小計		60,000,000円	
工事監理業務等委託料		20,000,000円	
計		80,000,000円	
工事費	庁舎改修工事費		
	管理教室棟（2階）1,029㎡×164,000円/㎡×1.2倍＝	203,000,000円	南関町の2年前の単価を参考にしているため1.2倍した額
	教室棟（4階）1,887㎡×250,000円/㎡×1.2倍＝	567,000,000円	
	EV設置費用(5,000万円+2,500万円)	75,000,000円	
	◎現庁舎新館（2階）外壁・屋上改修、EV設置	85,000,000円	
	新築(増築部分)なし、体育館改修なし	0円	
	サイン関連等工事費	100,000,000円	
今後の物価上昇対応額	20,000,000円		
計		1,050,000,000円	
建設費の合計		1,130,000,000円	
加算が概算費用される	① 備品購入・引越費用（電算関連その他引越費用・什器備品購入費）	230,000,000円	基金残で対応予定
	② 外構工事費（駐車場整備及びグラウンドから校舎の段差解消整備費）	100,000,000円	
	③ 二中入口道路拡幅事業（土地収用費用を含む。）	130,000,000円	財源予定あり 【交付金+過疎債=1.1億円】
	④ 起債事業返済金（現埋立地計画での実施設計委託の起債借入の返済）	111,000,000円	
計		571,000,000円	
総事業費の合計		1,701,000,000円	

上記の内、市の実質負担額は、

1,591,000,000円（交付税措置等1.1億円）